

▽マイナンバーカードを利用したコンビニ交付サービスの導入について

コンビニなどで行政上の各種証明書が取得可能となり、地方公共団体はコンビニ交付を行うための発行システムを構築することが必要。住民は個人番号カードを取得することが必要で、証明書類は、戸籍、住民票、印鑑証明。

問 本町のマイナンバーカードの交付率が8.4%しかないのに、どのくらいの利用者を見込んで、システムを導入しようとしているのか。

答 利用は未知数だが、町民へのマイナンバーカードの



普及を目的として実施したい。

問 平成34年に機器更新で、5百40万円かかる。普通交付税が措置されない場合、やめることは出来るのか。

答 自治体の判断でやめることはできると思う。

問 コンビニ全店舗が取扱しているのか。

答 セイコーマートを始めとする大手コンビニ系列全店舗で交付は受けられる状況。

問 手数料がかかると思うが。

答 事業者に対して、交付手数料、1件あたり1百15円を自治体が負担する。

▽ふるさとの森森林公園改修事業計画について

29年度、30年度の2カ年で計画。29年度の事業は、

バンガロー、管理棟の改修、東屋の塗装、展望台危険防止柵の設置。30年度は、炊事場塗装、アスレチック遊具の撤去と塗装。2カ年の総額9千52万5千6百円の事業費である。

問 アスレチック遊具を撤去することになっているが、幼児が遊べる遊具を設置する考えはないか。

答 この事業は、遊具を設置する計画ではない。時期を見ながら設置をする予定である。

問 遊歩道が壊れていて補修ができないかと町民から要望が来ている。今回の改修計画の中に盛り込まれていないが。

答 担当課の産業振興課と協議して、来年度の予算に計上する方向で検討する。

問 暗渠排水を入れるのか。電線は地下埋設するのか。事業費は全て単費になるのか。

答 1番の目的は、暗渠排水の敷設をすること。電線の地下埋設は考えていない。事業費は全て単費。

問 オートキャンプ場方式の駐車場スペースが必要ではないか。

答 全面的に整備が必要となり、経費もかかるため今は考えていない。

▽新規就農者への支援について

本町での就農を目指し、新規就農研修をしていた新規就農予定者については、平成29年5月31日をもって

新規就農研修を終了し、新規就農に向けた準備段階に入った。6月1日付でJA幌延町の組合員資格を取得し、農地の取得や乳牛の購入、施設整備に取り組んでいる。今後は乳牛の固有や施設整備に関する資金、借入協議等を実施し、貸付け決定後、本格的に営農を開始することになる。支援額は4千5百56万円。

次に新規就農者支援に関する条例に基づく支援については、新規就農者支援経

営自立安定補助金として、借入金に対する支援、利子補給、農用地等の賃借料、農地等に課税される固定資産税相当額に対する支援を定めている。



新規就農者の山口高弘さん、未久里さん